

平成 21 年度環境技術実証事業 VOC 排出抑制技術・脱臭技術分野
 (中小事業所向け VOC 排出抑制技術・脱臭技術)
 実施計画 (案)

社団法人 埼玉県環境検査研究協会

1. 目的

本事業は、環境技術実証事業 VOC 排出抑制技術・脱臭技術分野 (中小事業所向け VOC 排出抑制技術・脱臭技術) における平成 21 年度の実証機関として選定された (または選定予定の) 社団法人埼玉県環境検査研究協会において、平成 21 年度 環境技術実証事業実施要領 (以下、「実施要領」という。) 及び中小事業所向け VOC 排出抑制技術・脱臭技術実証試験要領 (第 1 版) (以下、「実証試験要領」という) 等に基づいて、実証試験を行うものである。

2. 実施体制

実証試験体制及び業務に従事する職員の氏名等を、それぞれ図 1 に示す。

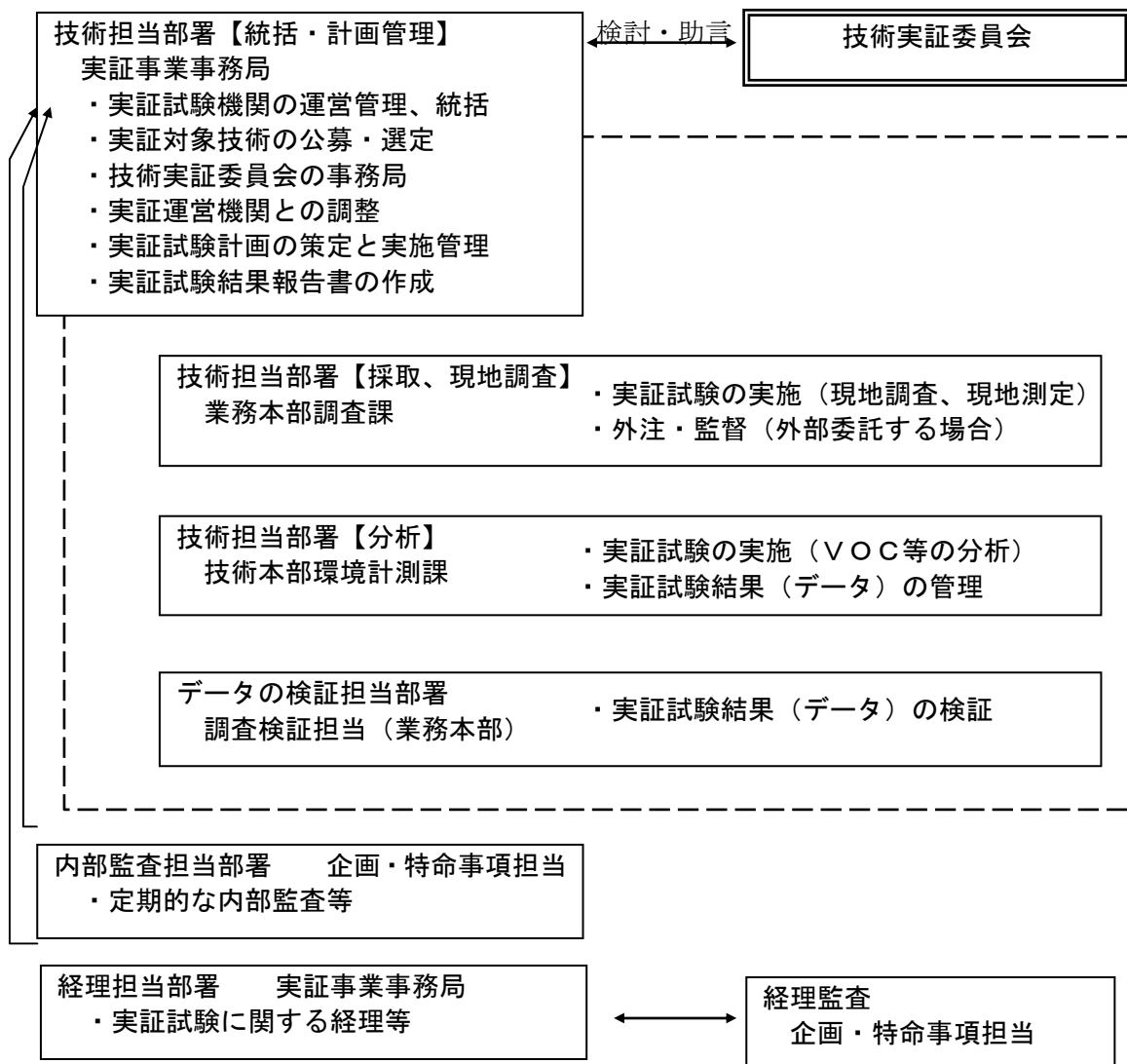


図 1 実証試験体制図

表1 技術実証委員会の設置・運営体制

技術実証委員会を運営する部署	社団法人 埼玉県環境検査研究協会
開催予定	第1回実証委員会(実証技術選定) 第2回実証委員会(試験方法検討) 第3回実証委員会(試験の実施状況、現地視察) 第4回実証委員会(結果検討)
委員の構成(案)	<p>埼玉大学大学院理工学研究科 教授 坂本和彦 氏</p> <p>産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門 励起化学研究グループ長 尾形 敦 氏</p> <p>試験研究機関(国立環境研究所等) 1名程度(予定)</p> <p>埼玉県環境科学国際センター 1名(予定)</p> <p>特定非営利活動法人 環境サポート埼玉 事務局長 鈴木敏資 氏</p> <p>ユーザー 1名(予定)</p>

5. 実証対象技術の公募・選定

実施要領、実証試験要領等に基づき、実証対象技術の公募・選定を行う。実証対象技術の選定に当たっては、技術実証委員会における検討等を踏まえることとし、選定結果については、実証運営機関の承認を得ることとする。

選定数としては、2技術選定することを予定する。

6. 実証試験計画の策定

実施要領、実証試験要領等に基づき、各実証対象技術ごとに、実証試験計画を策定する。実証試験計画の策定に当たっては、技術実証委員会で検討した上で作成することとし、策定後すみやかに実証運営機関に提出する。

7. 実証試験の実施

実施要領、実証試験要領、実証試験計画等に基づき、各実証対象技術ごとに、実証試験を行う。

8. 実証試験結果報告書の作成

実施要領、実証試験要領等に基づき、実証試験結果報告書を作成する。実証試験結果報告書の作成に当たっては、技術実証委員会での検討を経ることとし、実証運営機関の承認を得る。